



第19号

発行
東播磨甲南会

【事務局】
〒675-0017
加古川市野口町
良野365-11

行政書士澤本事務所
澤本武司 気付

TEL 079-421-1747
FAX 079-439-2842
E-mail
sawamoto@gyosei.or.jp

今年度総会の御案内
日時 ●平成28年6月4日(土) 午後5時より
会場 ●加古川プラザホテル



東播磨甲南会

会長 三宅 隆宏

有限会社共立サービス
取締役 会長
(経営学部 昭和41年卒)

東播磨甲南会の役割が見えた!!

甲南大学が新年度本格的に取組む「地域との連携」に東播磨甲南会が名乗りを上げ、1月今年1月学長室でフロンティア研究推進機構所長佐藤泰弘教授に続き3月30日事務室課長松本賢一氏も同席。その日は6月総会も含め1時間以上話し合った。

進みつつある加古川市との地域連携について、なぜ加古川かを熱く語ってくださった学長。何時お逢いしても熱血漢、情熱のお方だ。大学を変革し良くしようとエネルギーギッシュに挑戦されている。この方なら甲南を何とかしてくれる、そんなオーラが伝わってくる。

昨年秋、堺甲南会20周年に出席、國村良二堺甲南会会長が取り組まれてる堺市と大学との連携を知り私の胸は躍った。これが甲南会の役割だ!

当会の目的は会員相互の親睦と母校の発展に寄与すること。日々何か出来ないか悩み考えたい。

《加古川市×甲南大学》

私の目の前が大きく開けた。この連携をお手伝いすることで母校の発展に寄与出来る。岡田康裕市長にお願いし、加古川市に名乗りを挙げて貰おう。

敬愛する胡金定甲南大学教授が堺市と10年近く前から学生のシンポジウムで押し進められた地域連携、一つの節目に包括提携を結ぶまでごぎつげられた。

大学もこの成功を参考に、「次の堺市」を求めている。当会が大学と加古川市との橋渡し役を担うことが出来、大学の目指すINFINITIVITYの一つ「地域連携」のモデルケースになれば最高。大学が目指すことに協力支援すれば当会会員が誇りに思える魅力ある東播磨甲南会が誕生する。

総力あげて取り組もう!



学校法人 甲南学園
理事長
吉沢 英成

東播磨甲南会の皆様、日々健やかに活躍のこととお慶び申し上げます。

甲南学園創立100周年まで3年を切りました。甲南学園の新しいつぎの100年が意義深い世紀であるように100周年記念事業に、現在、大学、高等学校・中学校、全学あげて人物教育の率先に温故知新でもあり、不易流行でもあります。こうした教育の革新が可能となるよう(螢も雪も少なく



甲南大学 同窓会
会長
立野 純三
株式会社ユニオン
代表取締役社長

東播磨甲南会の会員の皆様におかれましては、平素より大学同窓会の活動に多大なるご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

小林豊前同窓会会長は、不退転の決意で同窓会組織の簡素化、事務局の効率化の改革に取り組み、時代の変化に合うように組織を変革させてられました。私はその成果を後戻りさせることなく継続させ、確実に前進させることが務めと思っています。新執行部が力を合わせ、必ずや改革路線を継承窓会に変革していきます。同窓生

の絆を途切れさせることなく引継ぎ、建学の理念「世界に通用する紳士・淑女たれ」のもと、教育と専門のバランスを大切にしながら、人物重視の教育と、良質な社会に貢献できる人材に育ててくれる甲南大学の卒業生であることに誇りを持ち、次の世代の甲南生にこの輝かしい誇りをつなげていく責務があると思っております。今10万人近くの方が巣立っています。全国各地で開催されている催しに卒業生全体の2/3しか関心を持っていない状況です。一人でも多くの卒業生が、各地で開催される同窓会に集まって頂き、青春を取り戻していただけるような同窓会にしたいと考えています。

東播磨甲南会の皆様が力を合わせ、より貴会発展させることを祈念致しています。

東播磨甲南会第24回総会ご案内

- 日時: 平成28年6月4日(土)
総会 午後5時00分から
講演会 午後5時30分から
懇親会 午後7時00分から
- 場所: 加古川プラザホテル・2階
TEL 079-421-8877
総会 | まつ・つつじの間
講演会 | 相生の間
懇親会 |
- 会費: 男性 6,000円
女性 4,000円
※新入会の方は入会金、1万円のみ。
講演会のみに出席の方は無料となります。
- 服装: カジュアル
(ノーネクタイ、ジーンズもOK)

シンポジウム 演題

『加古川市と甲南大学の地域連携』

加古川市 副市長

しらみず のぶ ひで
白水 伸英 氏



池田市総合政策部長
総務省大臣官房企画課課長補佐
在フランス日本国大使館一等書記官
内閣府沖縄振興局総務課長補佐
加古川市副市長に就任

甲南大学 学長

なが さか よし ゆき
長坂 悦敬



コマツ生産技術研究所 勤務
ブリテック・コロビア大学 客員研究員
大阪産業大学経営学部 教授
甲南大学経営学部 教授を経て
学長に就任

甲南大学の地域連携と東播磨

学長補佐・地域連携センター所長
文学部歴史文化学科教授

佐藤 泰弘

【甲南の新しい地域連携】

甲南学園創立100周年を迎えようとする今、甲南大学は、学生の力を無限に伸ばすという意味をこめた「Konnan Infinity」を旗印に、「教学新機軸構想」という新しい取り組みを推進しています。それが目指すのは、「人物教育の甲南」という伝統を、新しい時代に向けて革新していくことです。その一つに位置付けられているのが「地域連携・ボランティアの推進」です。

教育基本法・学校教育法が改正された際、大学の使命に社会の発展への寄与が

加古川市・高砂市・播磨町・稲美町の学生数(2015年度) *学部別・学年別

	文	経済	法	経営	理工	知能情報	マネジメント創造	フロンティアサイエンス	計
1年	40	25	26	32	10	14	13	3	163
2年	27	16	28	18	7	8	9	3	116
3年	32	22	34	22	12	9	10	1	142
4年	24	20	29	17	19	9	7	5	130
計	123	83	117	89	48	40	39	12	551

明示されたこともあり、近年、大学には地域貢献が強く求められていきます。その一方、甲南は建学の理念に「共働互助」を持っています。甲南にとっての地域貢献とは、大学が地域に貢献するという一方通行のものではなく、大学が地域と連携することによって相互に実りある連携関係を構築することであると考えています。

一般に、大学が連携する地域はキャンパス近隣です。すでに甲南も東灘区のチャイルドフェスティバル(旧、児童館ジャンボリー)に協力し、岡本商店街振興組合とは「街をキャンパスに」を目指して連携を深めるなど、近隣地域との関係を深めています。それに加えて今後、甲南大学は連携すべき地域を広げ、学生の暮らす地域、近隣府県等も視野に入れていきたいと考えています。そして本学の卒業生が活躍する地域は、当然ながら、連携すべき地域です。日本各地には卒業生の集う甲南会があります。甲南会の活動は、大学の新しい連携先がどこであるかを示してくれています。



【東播磨と甲南】

東播磨甲南会には加古川市・高砂市・播磨町・稲美町の同窓生が集まっているうかがっています。では現在、この4市町から何人くらいの学生が甲南に通っているか、ご存じでしょうか。2015年度の在籍者数は、7学部の全学年を合わせると551名のほります(【表】を参照。なお地元を離れて大学の近くで暮らす学生は含まれていません)。この数字は、全学生数が9048人であることに対し、大きいのか、小さいのか、どのように考えることができるでしょうか。

大学の地域連携というと、よくあるのは、教員が専門分野を活かして講演をしたり、種々の提言をすることです。それも大切ですが、私たちは、学生が地域連携に積極的に関わることも考えています。その際、一定の地域に一定数の学生が暮らしていることは、とても意味のあることです。加古川・高砂・播磨・稲美の4市町に暮らす学生は、大学全体での割合は6%です。これは小さいように見えるかもしれませんが、もし551名の学生が地元で活動するとしたら、どうなるでしょうか。たとえ最初は少なくとも、学生をつくる地域連携の輪が広がっていくれば、それは大きな力になっていくはずですよ。

大学は、地域から学生を預かり、地域に学生を返します。学生が地域で活動することは、それ自体が地域の活性化につながり、学生の新しい発想は課題の解決に斬新な視点を示すことができます。学生にとっても、大学で学んだことを地域の課題解決に活用すること、地域の方々と一緒に活動して社会経験を積むことは、大切です。そして学生が地元の魅力を発

見し、地域で活躍することになれば、それは「地方創生」の良き姿になるはずですよ。

【2016年度に向けて】

地域連携センターは2016年4月から、装いも新たに、スタッフを充実させ、再出発することが決まっています。その活動のなかで、学生の自律性・自発性を重んじながら、地域連携の魅力を学生に伝えていきたいと考えています。

東播磨は、甲南大学の地域連携における重点地域であり、そのための準備を進めています。大学が地域連携を展開するうえで、学生が地域で活動するために、東播磨甲南会にご助力をお願いすることもあると思います。今後の展開を見守っていただきたいと思います。

大学の諸部局と地域をつなぐハブ



会員企業紹介

「餃子の王将」

企業訪問第5回目の今回は、加古川市内で「餃子の王将」を3店舗展開し、地域の役職も歴任され、ご活躍中の(有)丹後代表の丹後昌博さんにお話を伺いました。

【司会】

学生時代の思い出をお聞かせください。

【丹後】

2回生の時、大学祭の模擬店実行委員長をしました。酒類販売に関して、他の出店者からかなりクレームがあつて対応に苦慮した思い出があります。

また、3回生の時には、文化会常任委員長に選ばれました。当時、文化会所属の学生が3千人くらいはいたと思います。大学の自治会役員に、文化会と体育会などから人を送り込みそれぞれの活動予算を確保していたのですが、4回生の時に自治会で文化会の勢力拡大に成功したことは思い出深いです。

【司会】

学生時代からいろいろな組織の活動に参加されていたのですね。今でも学生時代の先輩や友人と会う機会はありますか。

【丹後】

毎年、大学やその周辺で学生時代の友人や先輩、後輩と会う機会があります。昔の絆が今も残っており、学生時代から現在の状況報告まで話して楽しんでいきます。

【司会】

就職先に餃子の王将を選んだ理由と仕事についてお聞かせください。

【丹後】

就職する年は、就職難でしたが、待遇の良さに魅力を感じ入社しました。大卒で入社したのは、その年の17名が初めて



でした。



最初の配属先は新長田店。餃子、唐揚げ、ワントン、ライス、カツパ(きゅうりの漬物)のみを扱っている店でした。この店では笑顔が大切と接客を重視し、1日の売り上げを4万円程度から20万円になるまで伸ばすことができました。その実績が認められ半年後には人事部長として本社に戻りました。新長田店では、1日15時間から16時間働いて貯金もかなり貯まったように記憶しています。

【司会】

餃子の王将「丹将」として独立したきっかけは何ですか。

【丹後】

本社に戻ったものの新長田店で培った現場での運営ノウハウを生かしたくなり、フランチャイズでの独立を決めました。当時は、まだ24歳でした。

【司会】

独立する際に加古川を選ばれた理由は何か。

【丹後】

独立を決心したとき、店を出す場所として他にも候補地がありました。本心が

らいうと、生まれ育った神戸から離れるのには抵抗がありました。出店費用などを勘案して加古川店を選びました。

【司会】

店を運営されて、若い従業員や学生に対してどういったアドバイスがありますか。

【丹後】

今は格差社会です。きちんとした教育を受けるとともに、徳育を積むことが大切であると思います。でも、今の時代では難しいかもしれません。

【司会】

現在、東播磨甲南会の役員として活動されていますが、今後、本会がどういう風になると良いとお考えですか。

【丹後】

昨年末に開催した餅つき大会と餅まきは楽しかった。現在、社会的に活躍されている人であっても、東播磨甲南会に対する思い入れが少ないように感じます。もっと多くの人に認知してもらおう、そして、総会や各種行事に参加する人が増えないと、本会の活性化は図れないと思います。

さらに、せっかくの同窓生であり、縁があつて知り合ったのだから情報を互いに共有し、弱っている会員がいたらみんなで盛り上げる。また、そういった知識を出し合う場になればよいのではないかと思います。

【司会】

最後に、会員の皆さんへのメッセージをお願いします。

【丹後】

会員をはじめ、多くの皆さんに餃子の王将を利用していただきたいと思っています。

【司会】

ありがとうございました。

ゴルフコンペの餅まき会 開催のレポート



平成27年11月11日水曜日 加古川ゴルフ倶楽部におきまして、参加者9名(1名欠席)による第9回東播磨甲南会ゴルフコンペを開催いたしました。

そして、平成27年12月26日土曜日 ゴルフコンペ参加者が中心となり、稲美町和田の小山様事務所前にて地元の子ども達を無料招待し、餅まき及び餅つき大会を開催いたしました。このたび初めての試みとなりました。餅つき用餅(1000個)は小山様と丹後様、会場場所の提供は小山様、杵、臼、セイロは中尾様、プロパンガスは永田様、神戸新聞広告費は大村様にご協賛いただきました。

当日は、親御さんも含め90名近くの方にお集まりいただきましたが、それでもお餅が余るほどつきました。やっぱりつきたてはおいしかったです。東播磨甲南会のPRも存分にできたと思います。

来年度の次回第10回ゴルフコンペは小野ゴルフ倶楽部でのコンペを予定しております。11月の何かとイベントの多い気ぜわしい時期ではありますが、紅葉も楽しめるこの時期に年一度の開催を継続していきます。皆様のご参加よろしくお願いたします。(担当・澤本)

東播磨甲南会ゴルフコンペ収支の件

項目	収入	支出
参加費	¥5,000×10名 =¥50,000	
賞品代 (参加費のみ)		¥18,349
会食代		¥25,720
コンペ案内用葉書		52円×45枚 =¥2,340
葉書印刷代		¥0
合計	¥50,000	¥46,409

¥50,000-¥46,409=¥3,591(差額)
東播磨甲南会会計に¥3,591を繰り入れました。

平成27年度事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

- 平成27年 5月10日 機関紙「東播磨甲南会報」第18号発行
- 平成27年 5月28日 明石甲南会総会出席
- 平成27年 6月 6日 東播磨甲南会総会
- 平成27年 6月20日 阪神甲南会総会出席
- 平成27年 11月11日 ゴルフ同好会親睦コンペ開催
- 平成27年 11月22日 「オール甲南の集い」出席
- 平成27年 12月26日 餅まき会

平成27年度会計報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	歳入	歳出	
入会金(9名)	90,000	総会費	278,186
臨時会費	214,000	機関紙発行・送付費	286,632
支部援助金	167,028	他甲南会参加費	17,000
預金利子	164	慶弔費	0
雑収入(ゴルフ同好会より)	3,591	会議費等	4,900
前年度からの繰越金	710,021	次年度への繰越金	598,086
合計	1,184,804	合計	1,184,804

※上記の通り、収支は正確であると認めます。監査人 西尾 淳

平成28年度事業計画(案)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

- 平成28年 5月 2日 機関紙「東はりま甲南会報」第19号発行
- 平成28年 6月 4日 定期総会
- 随 時
 - ・友好支部総会へ表敬訪問
 - ・幹事会、役員会
 - ・ゴルフ同好会親睦コンペ開催

平成28年度予算(案)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	歳入	歳出	
入会金	40,000	総会費用	250,000
臨時会費	230,000	機関紙発行、送付費用	170,000
支部援助金	160,000	他甲南会参加費	20,000
預金利子	200	事業費・慶弔費	20,000
前年度からの繰越金	598,086	次年度への繰越金	568,286
合計	1,028,286	合計	1,028,286

東播磨甲南会 役員組織(案) (平成28～30年度)

- | | | |
|--|---|--|
| <p>会 長 三宅 隆宏 (S41経営)</p> <p>顧 問 渡邊 東 (S40経済)</p> <p>幹 事 長 栗山 隆博 (S62文)</p> <p>副幹事長 大庫 良一 (S54経済)〔筆頭〕</p> <p style="padding-left: 20px;">中尾 知也 (S50法)〔総務担当〕</p> <p style="padding-left: 20px;">大庫 俊介 (S46文)〔地区担当〕</p> <p style="padding-left: 20px;">松本 浩一 (S49文)〔広報担当〕</p> <p>会 計 榎谷 有美 (H3経営)</p> <p>監 事 西尾 淳 (S39経営)</p> <p style="padding-left: 20px;">中川 智章 (S39法)</p> <p>同窓会</p> <p>本部幹事 富居 雅人 (S62文)</p> | ⋮ | <p>〔総務委員会〕</p> <p>委 員 長 岩崎 泰央 (S62法)</p> <p>副委員長 籠谷 紘義 (S40経営)</p> <p style="padding-left: 20px;">藤原 武彦 (S60経営)</p> <p>〔地区委員会〕</p> <p>委 員 長 井奥 貴子 (H3経営)</p> <p>副委員長 丹後 昌博 (S54法)</p> <p style="padding-left: 20px;">榎谷 有美 (H3経営)</p> <p style="padding-left: 20px;">澤本 武司 (H6理)</p> <p>〔広報委員会〕</p> <p>委 員 長 新濱 義孝 (S62理)</p> <p>副委員長 岸本 明広 (S58法)</p> <p style="padding-left: 20px;">前田 直 (H1法)</p> <p style="padding-left: 20px;">渋谷 哲志 (H1法)</p> <p style="padding-left: 20px;">佐藤 孝洋 (H4法)</p> |
|--|---|--|

入会のご案内

- 目的…甲南大学同窓会の東播磨支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する事を目的とする。
- 入会資格…甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住、勤務。
- 入会金…終身会費1万円(初回のみ)
- 入会方法…総会時受付で申し出ていただくか、直接事務局へ。
- その他のご負担…総会・行事等毎に参加者からそのつど臨時会費(実費)を頂きます。

編集後記

時が経つのを速く感じる。昨年の広報紙を仕上げたのをつい先日のように思っていたら、もう次の号である。今年も、同窓会長が小林会長から立野会長に交代された。一つの変化が起こった。甲南大学も地域と連携する取り組みを始めようとして、その対象に東播磨甲南会が活動している地域が選ばれた。ここでも一つの変化が起ころうとしている。変化がないときを後退しているととらえるなら、東播磨甲南会も一つの前進を遂げているのか。

Y・S

事務局

〒675-0017
加古川市野口町良野365-11
行政書士澤本事務所 澤本武司 気付

東播磨甲南会

TEL 079-421-1747
FAX 079-439-2842
E-mail sawamoto@gyosei.or.jp